特ラ機構レポート No.179

令和３年３月１日

令和２年度 第５回理事会 報告 2

運用連絡と調整の総件数 8

新規加入会員紹介コーナー 12

イベントの情報 14

地上デジタル放送の高度化（4K・8K）に向けた電波発射について .. 15

ちょっとブレイク 16

特ラ機構 技術賞 募集 締め切り迫る 19

事務局便り 20

［理事会報告］ 令和2年度 第5回理事会 ［リモート会議］

1. 日　時　令和3年2月3日㈬　15 時～ 17 時

2. 出席者　（理事長・理事・監事総数 22 名）

出　　席　［理事長］渡邉邦男
［理　事］池上行大，岩井佳明，上田好生，小野良行，小俣公洋，金光浩昭，
北口紀雄，小間新五，鈴木久利，永谷俊之，西澤勝之，則行正信，
萩原桂吾，右田研介
［監　事］伊藤　博

委任出席　［理　事］石橋　透，小林　敬，瀬谷正夫，本間俊哉，吉田廣嗣
［監　事］國枝義久

3. 令和２年度 第５回理事会

開催挨拶

渡邉理事長からコロナ禍による緊急事態宣言下、今回もリモート会議として開催する事と参会への謝意があった。

今回の令和２年度第５回理事会審議事項では来年度（令和３年度）の会員支援をどうするか、理事会としての意見をまとめたい旨と時間的にタイトな理事もいるので、速やかな進行をしたいとの話が続き開会宣言になった。

4. 議　　題

【報告事項】

（１）運用連絡と調整の近況について　別紙資料にて説明（理事会資料：8 ～ 10 頁）

a. 運用連絡数の推移　b. イベント報告　c. 干渉報告

（２）特ラ機構レポート

178 号は、令和2年 12 月 25 日㈮ に発送済。179 号は令和３年２月下旬に発送予定となっている。内容は、理事会報告、新規加入会員紹介、技術賞関連記事などを掲載する予定。

（３）各委員会報告

① 賛助委員会

令和２年 12 月から令和３年１月の期間に「賛助委員会」の開催はなかった。

② 技術委員会

今期について委員会の開催はなかった。

③ 特ラ機構 技術賞委員会

令和元年度の審査結果は、２名の受賞者を除き、他の各受賞者及び担当者へは連絡済みとなっている。贈賞については令和３年３月を目途に調整している。

令和２年度については募集を開始し、令和３年１月発行のレポート 178 号および Web サイトで告知をおこなった。次号にも募集のお知らせを掲載し、チラシと応募用紙を同封することにした。

④ 編集委員会

第 83 回編集委員会は、令和3年1月 22 日㈮ に当機構事務局にて開催した。出席者は4名。178 号を振り返って反省点等を確認した他、179 号への掲載記事の検討、記事作成分担をおこなった。

（４）総務省関係、ＡＲＩＢ関連の報告

① 総務省関連

総務省移動通信課　菅野氏より令和3年1月8、 12、 21 日の3回にわたって、新型コロナウイルスに対する緊急事態宣言や感染拡大を予防するための各種提言など、政府からの要望や周知案内などのご連絡を頂いた。特ラ機構では関連情報をまとめ、ホームページ等で周知している。

② 各総合通信局関連

令和3年1月8日㈮、総務省関東総合通信局を通じて、TVWS チャンネルリストの新規検討を申請した。詳細はホームページに掲載している。

その他、この度の緊急事態宣言に伴い、該当地域の各総合通信局では職員のテレワーク勤務を増やしている模様であるが、令和3年1月末までのところ、無線局免許状の交付などに滞りは起こっていない。

③ ＡＲＩＢ関連

令和2年 12 月 16 日㈬ に開催された「第 73 回地上無線素材伝送作業班」ならびに令和3年1月 13 日㈬ に開催された「第 38 回素材伝送開発部会」の Web ミーティングに甲田テクニカルチーフが参加した。800MHz 帯の使用期限終了に伴う「STD-B13 2.1 版」廃止提案ならびに「STD-B33 1.4 版」改定案、マイクロ波帯 UHDTV-FPU の「STD-B71」改定案などが審議された。

（５）ＴＶホワイトスペース等利用システム運用調整協議会（略称 ： ＷＳ協議会）

① 統合ＤＢ作業班

2.3GHz 帯周波数共用会議からの要望をまとめた形で、運用連絡システムの入力画面を改修することになっており、令和3年1月 20 日㈬、事務局より本件に関するメール審議の案内があった。

② ＷＳ協議会負担金の支払い状況

令和 2 年度の WS 協議会負担金（既存会員分の運用調整費）については、状況を見て支払いとなる見込み。また、令和 2 年度第 3 四半期の WS 協議会負担金（新規分の登録費・運用調整費）については、これから WS 協議会側と確認作業をおこなう予定となっている。

（６）情報通信月間協議会報告

令和 2 年 12 月 16 日㈬、同協議会事務局から「2021 年度 情報通信月間」のテーマについて、応募のあった複数案に対する評価依頼があり、これに対して回答した。これらの集計結果を基に、第 1 回企画実行委員会（令和 3 年 1 月 14 日㈭ 実施）が開かれ、下記のとおりテーマが決定した。

2021 年度情報通信月間テーマ
“デジタル変革がもたらす「社会」と「地域」の新時代”

その他、令和 3 年 1 月 18 日㈪、同協議会事務局から会計監査に関する報告書一式のメール送付を受けた。

（7）令和３年度の再免許手続きの進捗状況

令和３年度の再免許（免許更新）手続きについて、当機構扱いの大部分は総務省各総合通信局への申請を完了している。必要書類が揃っていない等の理由で未申請の会員については、引き続き、事務局にて対応している。

（8）東京オリ・パラ組織委員会

今期、関係する連絡はなかった。

（9）地上４Ｋ・８Ｋデジタル放送の実験試験局運用について

現在、実証実験が実施されている「東京・名古屋・大阪・福岡地区」に加え、令和３年３月上旬から、新たに三重県の津市（UHF25ch）・伊勢市（UHF25・35ch）でも実験をおこなうこととなった。

また、名古屋地区（愛知県弥富市）においても、実験に使用されている UHF35ch に加え、令和３年３月上旬から UHF25ch が追加される。

試験電波の発射スケジュールについては、情報が確定し次第、当機構 Web サイトおよび特ラ機構レポートで随時告知していく。

（10）短信、その他

① ホームページ更新

今期は、最新号の特ラ機構レポートとチャンネルリスト新規追加分の定期更新をおこなった。また、トップページおよびお知らせページに「第 21 回特ラ機構技術賞」の募集案内をアップロードした。

② 運用連絡票・運用連絡ついて

運用連絡票送付時の注意事項について『特ラ機構レポート 178 号』へ掲載して会員へお願いをしたが、依然として運用直前の提出が多く見受けられる。日曜日や祝日の運用連絡票の提出は、システムへの登録が翌営業日となるので注意願いたい。また、運用調整システムへ登録されていない状態で運用する事は、他局へ混信を与える恐れがあって非常に危険といえる。各会員へは余裕を持った運用連絡票の提出を重ねてお願いしていく。

③ チャンネルリストの修正について

令和２年 12 月 22 日㈫と令和３年１月 28 日㈭、TVWS チャンネルリストの新規データならびに追加データが登録された。また、各施設のネーミングライツの変更をはじめ、住所表示の変更、移転や閉館に伴うリスト削除などの修正もおこなわれた。

⇒以上の報告事項について、出席理事全員の承認があった。

5.【審議事項】

（1）会員の入退会　令和 2 年 12 月～令和 3 年 1 月分

[入　会]

関　東: ANO 株式会社, 株式会社 tep, 小田原市（小田原市民ホール), 竹内 久史, 根本 飛鳥, 株式会社 OverTheClip, 日本写真判定株式会社（千葉 JPF ドーム）

近　畿：福島 佳樹

中　国：株式会社 RCC 文化センター（広島県民文化センター）

[退　会]

関　東：株式会社ベースオントップ

東　海：株式会社エルフラット（ザ・パームガーデン　グリーンヒルズ）

近　畿：田丸　修実

（2）会員数

令和 3 年 1 月末現在　　1,451 会員

（3）無線局数

令和 3 年 1 月末現在　　46,118 局

〈内 訳〉

① 470 ～ 714MHz 帯

ラジオマイク　　35,070 局

イヤーモニター　　2,513 局

② 1.2GHz 帯

ラジオマイク　　8,535 局

合　計　　46,118 局

（4）「JPPA AWARDS 2021」 援助金協力依頼

（一社）日本ポストプロダクション協会より「JPPA AWARDS 2021」の援助金協力依頼が届き、例年に則して援助をおこなった。

（5）コロナ禍における令和 3 年度の会員支援について

コロナ禍における令和 3 年度の会員支援について、直近の令和 2 年度第 3 回理事会、第 4 回理事会で出された意見、それについての審議等をおこなってきた。今回の第 5 回理事会で大枠を定めたい旨を伝え審議に入った。

昨年、年会費・運用調整費の減額を決定した際、年会費と運用調整費の減額率を同じにする事で理事会及び総会の了承を得ている旨の告知があった。

令和 2 年度第 3 回及び第 4 回理事会において、収束を見ないコロナ禍にあって音響事業者の負担はとても大きい。可能ならば今年度（令和 2 年度）と同等な支援は必要である。とい

う理事会の総意を検討するにあたり、昨年実施した支援策を振り返り、資料も交え以下の検討をおこなった。

［令和 3 年度の会員支援］

① 令和 3 年度年会費・運用調整費の減額
② 令和 3 年度年会費・運用調整費の納入期日延長
③ 令和 3 年度年会費・運用調整費の分割納入

①～③ の中で ①令和 3 年度年会費・運用調整費の減額についての集中審議をおこなった。以下に質問・意見等混在しているが時系列で記す。

※審議前に参考資料として作成した、令和 3 年 2 月 1 日時点での会員数、局数に対する減額例（1 ヶ月、1.5 ヶ月、 2 ヶ月）の提示と説明があった。

［質問・審議］ ※**太字**＝質問・意見

渡邉理事長：機構関連費用の減額については、前年度末の理事会（令和 2 年 4 月 15 日の第 5 回理事会、 5 月 8 日の臨時理事会）で子細検討した結果、年会費・運用調整費を同じバランスで減額する旨の了解を得ている。今回は減額を昨年度と同様（1.5 ヶ月分）とするかどうかに焦点を当てたご意見を伺いたい。

・今決定するものは、令和 3 年 4 月～4 年 3 月までの費用についてなのか？

渡邉理事長：その通りです。今審議している令和 3 年度の減額については、総会での会員承認が必要なので、後押しの支援となる。

・令和 3 年度はコロナ禍の収束を見越して考えた方がよいのでは？

渡邉理事長：コロナの収束がイコール業界復活ではない。そこを踏まえた検討をお願いしたい。

・コロナ禍はまさかの 1 年以上と長く続いている。制作サイドが担うライブエンタテインメントは 95％減で疲弊している。令和 2 年度は 1.5 ヶ月分の減額だったが、機構運営が逼迫するような事が無ければ昨年並み、あるいは昨年以上の減額を願いたい。

・昨年並みの減額が妥当だと思う。所属劇場での公演では中止は少なくなっている。劇場公演は陽性者が出ない限り中止が無い。昨年秋以降の公演中止は無く、公演日程は 100％埋まっている。

渡邉理事長：公演が催されても観客動員数はコロナ対策で満席にはならないので、平常時のペイはなされていないのではないか。

・ツアーの動きはどうか？

・ツアーはほとんど無い。外国人アーティストは全滅。国内アーティストの開催は若干あるが、観客席キャパの減、時間の制限があるので通常のようにはいかない。

・ライブは少ない。配信にシフトしている。配信パフォーマンスにラジオマイクがどう関わっているか、配信目的に限定した運用連絡件数の集計は出るのか？

渡邉理事長：現在の運用連絡システムでは、配信目的に限定したカウントは出来ない。

・配信での地域別ラジオマイク使用状況が分かれば判明するが、配信及びツアーは東京・大阪のＰＡ業者が多い。地方での仕事はほとんど無い。

・ツアー等の現地スタッフ起用はほとんど無い。東京での仕事もあるが、70 ～ 80%仕事としては減っている。計画はあるが、コロナ禍の収束を見ないと自宅待機になる事が多い。令和 2 年度と同じ 1.5 ヶ月分の減額を希望する。

・減額は令和 2 年度と同様に 1.5 ヶ月分が良い。会員支援は良い事で有難いが、引き際のルールを決める事も大事。会員支援の減額、増額にもルールが必要だと思う。解除するタイミングを決定する必要もある。

・減額による支援はその都度では駄目なのか？

渡邉理事長：減額対象が年会費・運用調整費という性質上、令和 3 年度の支援も年度単位となる予定。金額的な事は一般社団法人として予算案に則り、総会での承認があって実施されるので、都度減額の実行は実務的に困難。

・ワクチンの接種状況と収束状況、オリパラ開催が実現するかどうかが今の段階では分からない。令和 2 年度と同様に 1.5 ヶ月分の減額が良い。

年会費・運用調整費の減額を令和 2 年度と同じ 1.5 ヶ月分とすることで理事全員の意見の統一がなされたため、次回理事会［令和 3 年 4 月 14 日㈬］に令和 3 年度の予算案を作成し、コロナ禍の状況をふまえて最終検討をする事になった。

⇒　以上の審議事項（１）～（５）について、審議の結果、出席理事全員の承認があった。

次回理事会（予定）

日　時　：　令和 3 年 4 月 14 日㈬　15：00 ～ 17：00

場　所　：　中野サンプラザ　6 階　フラワールーム

運用連絡と調整の総件数

2020 年 12 月～ 2021 年 1 月

理事会資料 R2-5-01a

1. 最新の運用連絡・調整の総件数（新周波数帯）

各年度月別運用連絡・調整総件数

※ 2017 年 4 月から 2019 年 11 月までのデータは 2019 年 12 月 2 日時点で再集計

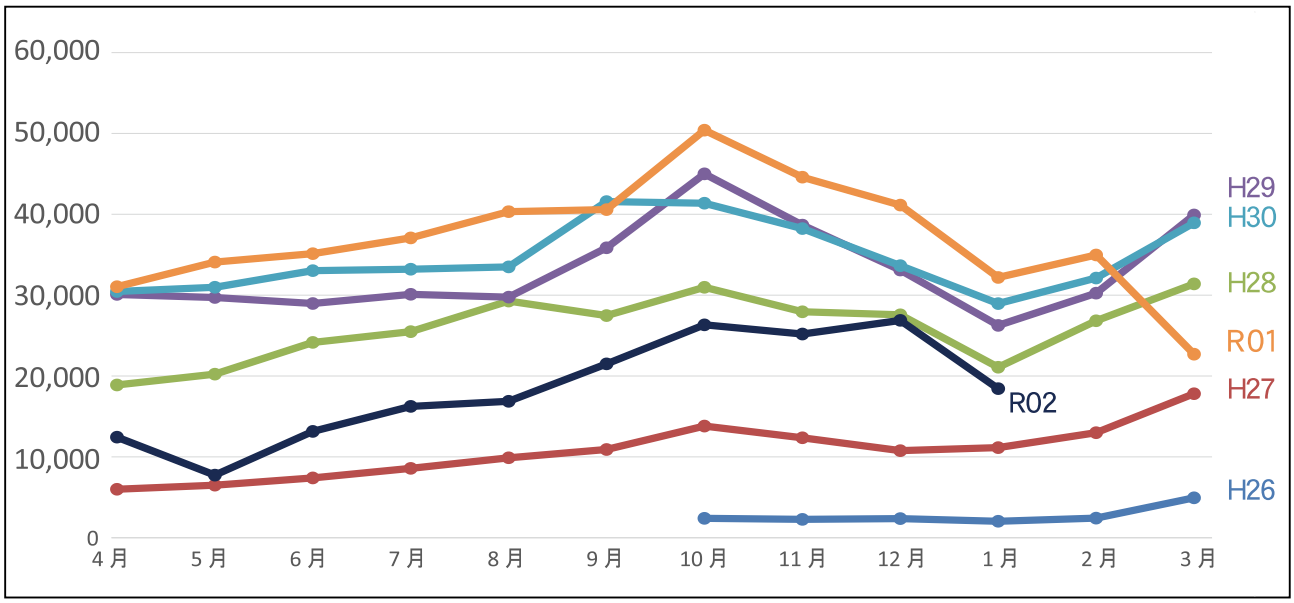
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	月平均
26 年度							2, 858	2, 730	2, 825	2, 501	2, 880	5, 366	19, 160	3, 193
27 年度	6, 412	6, 913	7, 797	8, 969	10, 260	11, 271	14, 135	12, 704	11, 130	11, 499	13, 329	18, 092	132, 511	11, 043
28 年度	19, 161	20, 485	24, 364	25, 677	29, 417	27, 646	31, 100	28, 105	27, 738	21, 327	27, 008	31, 517	313, 545	26, 129
29 年度	30, 228	29, 853	29, 120	30, 245	29, 898	35, 928	44, 971	38, 701	33, 207	26, 443	30, 385	39, 939	398, 918	33, 243
30 年度	30, 589	31, 104	33, 135	33, 311	33, 597	41, 578	41, 380	38, 279	33, 744	29, 109	32, 231	38, 981	417, 038	34, 753
R 元年度	31, 172	34, 184	35, 213	37, 136	40, 348	40, 598	50, 306	44, 561	41, 152	32, 302	35, 054	22, 921	444, 947	37, 079
R 2年度	12, 780	8, 139	13, 485	16, 543	17, 164	21, 739	26, 511	25, 387	27, 059	18, 711				

	コロナ禍の期間	
	3 月～ 1 月 (11 ヶ月)	今年度 4 月～ 1 月
前	425, 953	386, 972
当	210, 439	187, 518
増減	(−215, 514)	(−199, 454)

	2 ヶ月間の総件数	
	2020 年 10 月～ 11 月	2020 年 12 月～ 1 月
前	94, 867	73, 454
当	51, 898	45, 770
増減	(−42, 969)	(−27, 684)

	1 ヶ月間の受信数									
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月
前	13, 954	14, 708	15, 290	15, 302	15, 914	16, 577	18, 593	18, 407	16, 023	13, 146
当	5, 875	3, 996	7, 038	8, 769	8, 766	10, 791	12, 634	12, 475	12, 324	8, 896
増減	(−8, 079)	(−10, 712)	(−8, 252)	(−6, 533)	(−7, 148)	(−5, 786)	(−5, 959)	(−5, 932)	(−3, 699)	(−4, 250)

各年度月別運用連絡・調整の総件数の推移



2. 前年期（2019 年 12 月～ 2020 年 1 月）と当期（2020 年 12 月～ 2021 年 1 月）運用連絡（受信）・調整（送信）件数を比較する

（1） 2 ヶ月間の運用連絡・調整の総件数

前年期に比して、**27,684** 件の**減**となった。（1 月に 2 回目の緊急事態宣言）

受信・送信　2 ヶ月間の比較					
前々期 2018 年度（12 月～ 1 月）		前年期 2019 年度（12 月～ 1 月）		当期 2020 年度（12 月～ 1 月）	
受信数	25,805	**受信数**	29,169	**受信数**	21,220
送信数	37,048	送信数	44,285	送信数	24,550
計	62,853	計	73,454	計	45,770
比率（送信 / 受信）	1.44	比率（送信 / 受信）	1.52	比率（送信 / 受信）	1.16

（2） 1 ヶ月単位での総件数と受信数について

COVID-19 影響で今年度 4 月の運用総件数は 12,780 件、連絡【受信数】は 5,875 件で前年比 8,079 件減となった。 5 月は過去 4 年間で最低の件数になったが、それ以降 12 月までは 11 月の若干の落ち込みを除き増加傾向にあった。徐々にではあるが、前年月との差を縮めていた矢先に、11 都府県に 2 回目の緊急事態宣言が出され、そのうちの 10 都府県で 3 月 7 日までの延長が決定した。

過去の総件数を表示した折れ線グラフからも分かるように、毎年 1 月はシーズンイベント数等の減少によって、運用連絡・調整の総件数が下がることは予測していたが、緊急事態宣言の発出も重なり大きな影響を受けた。

（3） 2 ヶ月間の連絡（受信）件数に対する調整（送信）件数の比率について

運用連絡【受信数】を見ると、前々年期（25,805）、前年期（29,169）に比べ、当期（21,220）は減少している。

連絡件数に対する調整件数の比率でも、前年期の 1.52 倍から 1.16 倍に下がっている。

3. 各年度月別運用連絡・調整総件数の比較から、コロナ禍での影響を見る

※ 2017 年度以降のデータは 2019.12.02 時点で再集計 .

各年度月別運用連絡・調整総件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	月平均
27 年度	6, 412	6, 913	7, 797	8, 969	10, 260	11, 271	14, 135	12, 704	11, 130	11, 499	13, 329	18, 092	132, 511	11, 043
28 年度	19, 161	20, 485	24, 364	25, 677	29, 417	27, 646	31, 100	28, 105	27, 738	21, 327	27, 008	31, 517	313, 545	26, 129
29 年度	30, 228	29, 853	29, 120	30, 245	29, 898	35, 928	44, 971	38, 701	33, 207	26, 443	30, 385	39, 939	398, 918	33, 243
30 年度	30, 589	31, 104	33, 135	33, 311	33, 597	41, 578	41, 380	38, 279	33, 744	29, 109	32, 231	38, 981	417, 038	34, 753
R 元年度	31, 172	34, 184	35, 213	37, 136	40, 348	40, 598	50, 306	44, 561	41, 152	32, 302	35, 054	22, 921	444, 947	37, 079
R 2年度	12, 780	8, 139	13, 485	16, 543	17, 164	21, 739	28, 511	25, 387	27, 059	18, 711				
前年との差	−18, 392	−26, 045	−21, 728	−20, 593	−23, 184	−18, 859	−23, 795	−19, 174	−14, 093	−13, 591	+2, 823	−16, 060	+27, 909	+2, 326

2018 年度と 2019 年度の比較		
	1 年間の合計	1 ヶ月の平均
2018 年度	417,038	34,753
2019 年度	444,947	37,079
	27,909 件増	2,326 件増

4. 特定ラジオマイクが運用された主なイベント　（令和2年12月～令和3年1月）

イベント名	日　程	施　設	運用社数	ブース数	マイク・イヤモニ			計
					TVWS	711-714	1.2GHz	
グラブルフェス2020　他	12/ 8 ー 12/13	幕張メッセ	5	5	42	10	1	53
ジャンプフェスタ2021 ONLINE 他	12/17 ー 12/20	幕張メッセ	7	9	51		40	91

運用局数２０局以上を表記　　表１

令和２年 12 月から令和３年１月の２ヶ月間に、主な施設で特定ラジオマイクが運用された催事は 19 件あった（昨年比△ 82 件）。

これらの施設では、イベントの他にオンラインなどによるライブ・コンサートが 16 件（昨年比△ 24）、握手会・ハイタッチ会が１件（昨年比△４）開催された。

5. 干渉報告

今期、干渉報告は無かった。

原稿をお寄せください！

「特ラ機構レポート」はみなさまの会報です。ご寄稿をお待ちしております。

ラジオマイクの技術や運用　研究、開発とまで行かなくても「こんなことをやってみました」「こんな使い方もあります」などなど。みんなに知らせれば役に立つだろうと思われること。なんでもけっこうです。

映像、音響全般の技術や運用　ラジオマイクに限らずお寄せください。

こぼれ話　南から北から周辺の話題を拾ってください。観光宣伝でも舞台やイベントのこぼれ話でも、美味しいお店の紹介でも。ラジオマイクは全国を巡っています。

特ラ機構への意見　苦言、提言、気付かれたこと、なんでも結構です。組織・活動を充実させるため、前向きの建設的なご意見をお願いいたします。

寄稿は会員に限らず「特ラ機構レポート」をお読みの方ならどなたからでもお受けいたします。レポートに掲載させていただいたものには、些少ですが、原稿料を差し上げます。

メールでの寄稿、大歓迎です。Email：office@radiomic.org

178 号の誤記訂正のお知らせ

『特ラ機構レポート 178 号』10・11 ページ「運用連絡と調整の総件数」におきまして、以下の通り一部内容に誤りがありましたので、ここに訂正しお詫び申し上げます。

【該当箇所】

① 10 ページ 2 段目 赤枠内のセル

【誤】

	コロナ禍の期間		2 ヶ月間の総件数	
	3月～11 月	4月～11 月	8月～9 月	10月～11 月
前	625, 366	313, 518	80, 946	90, 904
当	325, 116	141, 748	38, 903	48, 250
	(−300, 250) 件減	(−171, 770) 件減	(−42, 043) 件減	(−42, 654) 件減

⇓

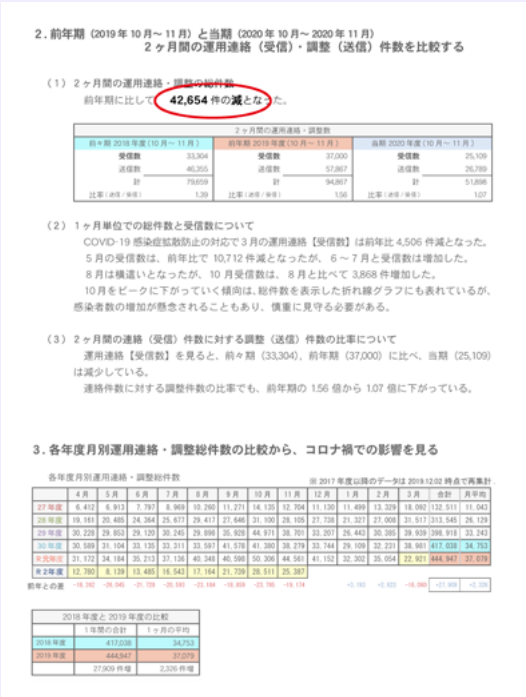
【正】

	コロナ禍の期間		2 ヶ月間の総件数	
	3月～11 月	4月～11 月	8月～9 月	10月～11 月
前	352, 499	313, 518	80, 946	94, 867
当	164, 699	141, 748	38, 903	51, 898
	(−187, 830) 件減	(−171, 770) 件減	(−42, 043) 件減	(−42, 969) 件減

② 11 ページ 4 行目

(1) 2 ヵ月間の運用連絡・調整の総件数

【誤】42,654 件　⇒　【正】42,969 件



新規加入会員紹介コーナー

令和2年12月～令和3年1月

関　東

● ANO株式会社

会員番号 030-1045

代表取締役　深町　昭記　　入会：令和2年 12 月3日　　固定　シュア…18 局
移動　シュア…..5 局

〒 130-0005　東京都墨田区東駒形2－ 22 －2　山安ビル 1 階

運用担当者　森川　郁　　TEL 050-5218-5933　E メール morikawa@ano-inc.jp

【ひとこと】VTuber 関連の配信ビジネスを展開しております。音に限らず映像も。ネットワークインフラもやっておりますので何かあればお声かけを。

● 株式会社tep

会員番号 030-1046

代表取締役　藤原　望　　入会：令和2年 12 月 26 日　移動　シュア…36 局

〒 135-0053　江東区辰巳3－ 18 － 20

運用担当者　五味　竜太　　TEL 03-3400-0505　E メール gomi@tep-inc.net

● 小田原市民ホール（小田原三の丸ホール）

会員番号 030-1047

館長　大石　時雄　　入会：令和3年1月 14 日　固定　シュア…20 局

〒 250-0012　小田原市本町1－7－ 50

運用担当者　城所　茂　　TEL 0465-33-1702　E メール hall-construction@city.odawara.kanagawa.jp

【ひとこと】最新の舞台設備のある大ホール・平土間利用できる小ホール・展示室・スタジオ・練習室を備えた、新たな文化・芸術の拠点として、小田原城を眺望できる街中に令和3年9月5日にオープンします。

● 竹内　久史

会員番号 030-1048

竹内　久史　　入会：令和3年1月 25 日　移動　レクトロソニックス…3局

〒 144-0044　大田区本羽田1－8－ 16

運用担当者　竹内　久史　　TEL 090-2495-6381　E メール hisafumi1@yahoo.co.jp

● 根本　飛鳥

会員番号 030-1049

根本　飛鳥　　入会：令和3年1月 25 日　移動　WISYCOM…2局

〒 334-0002　川口市鳩ヶ谷本町1－1－ 11 － 505

運用担当者　根本　飛鳥　　TEL 090-6112-9101　E メール think_different_dream@yahoo.co.jp

【ひとこと】映画を中心にフリーで録音をしています根本です。まだまだ若輩者ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

近　畿

● 福島　佳樹　　会員番号 070-0320

福島　佳樹　　入会：令和2年 12 月 11 日　移動　　シュア…4 局

〒 525-0058　滋賀県草津市野路東5－ 11 － 36

運用担当者　福島　佳樹　　TEL 077-563-0210　E メール fukuyoshi988@gmail.com

中　国

● 株式会社 RCC 文化センター（広島県民文化センター）　　会員番号 080-0070

代表取締役　武田　信晃　　入会：令和3年1月 18 日　固定　　シュア…6 局

〒 730-0051　広島県広島市中区大手町1－5－3

運用担当者　長沼　隆　　TEL 082-245-2311　E メール kenmin@music-hoc.com

イベントの情報

昨年の同時期はたくさんのイベントの情報を掲載できたのですが、昨今の厳しい状況の中でイベントも少なくなっております。早く元の状況に戻り、イベントも活発に行われるように願うばかりです。

運用連絡は正確に、余裕をもって日・祭日を除く２日前までにご連絡ください

大規模な展示会等、業者が複数社混在する場合は、運用調整が複雑になる事が予想されます。さらに余裕をもってご連絡頂き、事前の調整にご協力ください

イベント

日　程	競　技　会　名	場　所
3 月 9 日～ 12 日	ライティング・フェア 2021	東京ビッグサイト
3 月 13 日～ 14 日	大阪キャンピングカーショー 2021	インテックス大阪
3 月 27 日～ 30 日	★ AnimeJapan2021	オンライン

★：複数会員社による同時使用実績あり

♬ ルールを守って　クリアな運用 ♬

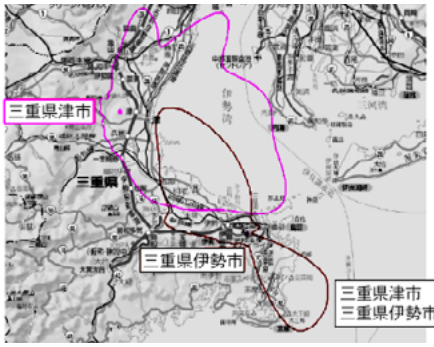
地上デジタル放送の高度化（4K・8K）に向けた電波発射について

一般社団法人放送サービス高度化推進協会（A-PAB）では、東京・名古屋・大阪・福岡地区において、地上デジタル放送の高度化に向けた実験試験局による電波発射を実施しています。前号（178 号）でもお知らせしましたとおり、今年度は、三重県津市及び伊勢市に小規模な実験試験局を設置し、新たな実証実験が予定されています。

直近の電波発射スケジュールは下記のとおりです。

＜電波発射スケジュール＞　　※電波発射スケジュールは変更となる可能性があります

地　　区	電波発射日程 （土日祝を除く平日 10 時～ 18 時）	送信出力	送信 TV チャンネル
東　京	3 月 1 日 ～ 3 月 5 日	1kW（定格）	UHF 28ch
福　岡	3 月 8 日 ～ 3 月 19 日	1kW（定格）	UHF 51ch
名古屋（愛知県名古屋市昭和区）	3 月 1 日 ～ 4 月 9 日	1kW（定格）	UHF 35ch
◯ 名古屋（愛知県弥富市）	3 月 16 日～ 3 月 26 日	10W（定格）	UHF 25ch ※
☆ 三重県津市	3 月 1 日 ～ 3 月 5 日	10W（減力）	UHF 25ch
	3 月 8 日 ～ 4 月 9 日	30W（定格）	UHF 25ch
☆ 三重県伊勢市	3 月 10 日～ 3 月 26 日	10W（定格）	UHF 35ch
	3 月 29 日 ～ 4 月 9 日	10W（定格）	UHF 25ch



新規追加地区の実証実験の想定エリア（電界強度：60dB μ V/m エリア）

☆新規追加地区
◯チャンネル追加地区
（UHF35ch に加え 25ch を追加）
※名古屋（愛知県弥富市）の UHF35ch 電波発射の予定はありません。

〔注 1〕電波発射時間は、土日祝を除く平日の 10 時～ 18 時となります。

〔注 2〕東京地区の UHF28ch は、テレビホワイトスペースの割当がないため運用調整は発生いたしません。

この電波発射に伴い、日時、場所によって特定ラジオマイクの運用調整が必要となる場合があります。放送サービス高度化推進協会（A-PAB）の「地デジ高度化実験受信対策センター」ホームページをご確認いただき、ご対応下さいますよう、よろしくお願い致します。

https://tvkoudoka.jp/

また、当機構ホームページに開設している「地デジ４Ｋ・８Ｋ実験試験局情報」では、東京・名古屋・大阪・福岡地区の電波発射スケジュールや運用調整など、特定ラジオマイクに関連する情報をダイレクトにお伝えしていますのでご活用下さい。

https://www.radiomic.org/

会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

特定ラジオマイク運用調整機構 事務局

ちょっとブレイク

「波瀾ばんばん座ふん闘記」

私の地元である千葉県市川市には“波瀾ばんばん座”と言うシニア劇団があります。

41 年間勤め上げた東宝株式会社を定年退職後、第二の人生の旅の最中にこの劇団と出逢い、座員の末席に名を連ねてから今年で４年になりました。

劇団は９年前に旗揚げ公演として水上勉の『飢餓海峡』以来、『甘柿しぶ柿つるし柿』『がめつい奴』『私は今日まで生きてきました』『港のヨーコ』の本公演と、小品のミニ公演などを重ねて来ました。

そして今回、劇団の主宰者と座付きの演出家、劇団員が稽古を重ね、満を持して上演するのは古今亭志ん生原作の落語芝居『子別れ』です。

元々は昨年の４月に公演予定でしたが、コロナの影響で６月へ延期となり、今回『三度目の正直』で稽古を重ね、花魁ゆかりの三ノ輪浄閑寺に墓参し、衣装かつら合わせも終えて、今年１月 10､11 日が公演日とされました。

客席を半分にし、チケットも郵送したり、皆で舞台をアルコールで拭いたりとコロナ対策も万端整ったという矢先に再度の緊急事態宣言でした。

『二度あることは三度ある』かと気をもんでいましたが、市川市が管轄する全日警ホールが８日から閉鎖となるとまさかの連絡。

１年間積み重ねた準備や稽古はまたも水の泡かと皆で落胆しておりました。

ところが、劇団主宰者の計らいによりホールが閉鎖となる前日の７日に場当たり、ゲネプロをすっ飛ばして無観客での公演を打つと決まりました。

一転して急きょ、朝イチでの舞台の仕込み作業となり、照明、音響、大小道具に金屏風、衣装化粧を大急ぎで揃え、舞台監督、演出、

左から3人目が筆者

撮影、舞台スタッフに役者たちも総出で無観客のまま舞台の本番に臨みました。
今回の公演の見ものの一つが花魁※の舞踊りです。

ちょっとシニアとはいえ豪華な衣装、艶めく化粧で花魁の舞は照明の中で舞台映えします。

この豪華な衣装はあの浅香光代劇団の衣装屋さん、舞や所作指導は NHK 大河ドラマも指導された花柳錦女先生です。

私の役どころは近所の世話役為助と吉原遊廓の客の呼び込みの牛太郎の二役でした。

セリフを身体に染み込ませるために、気が付けば風呂でもトイレでも何時もぶつぶつです。
歳のせいもありセリフ覚えが悪い上に、花魁の三味線で端唄を唸る場面があり、端唄教室に通ってみたり、車で繰り返し練習してみたものの付け焼き刃でしょうか。

1 時間 40 分を全員で演じきり、無観客とはいえ最後に波瀾ばんばん座劇団歌をホールに響かせ緞帳が降り何とか無事に終演を迎えることができました。

演劇という“心の栄養”が再び楽しまれるのはいつになるのでしょうか。

シニア劇団波瀾ばんばん座の入団条件は年齢 60 歳以上だけです。

心の栄養となる演劇を皆様もいかがですか？お待ちしております。

特ラ機構監事　伊藤　博

※花魁（おいらん）は遊廓で位の高い遊女を言う。

移動会員の運用連絡票提出遅れ・誤記による 混信寸前の重大インシデント発生中

特定ラジオマイクの運用調整に必要な**『運用連絡票』（※）**は、
運用２日前までに当機構事務局へ提出して下さい。

※固定会員は『運用連絡票』を提出する必要はありません

運用調整システムへの登録がない状況で運用する事は、
混信を起こしたり、現場同士のトラブルに繋がります。
急遽仕事が確定する事も多いとは理解していますが、日程が迫っている場合は特に、
「**運用調整システムへの登録完了後、他社との運用調整が可能か**」を考慮に入れて下さい。

また、正確な情報を登録する為に、送信前に記載内容を再度ご確認下さい。

主な誤記・記入漏れ内容

■運用日時の誤記
■使用場所の「施設名」「住所」「適用エリア」の記入漏れ、誤記
■ TVWS 帯使用不可チャンネルの申請
（チャンネルリストに掲載の無い施設では WS 帯は使えません）

記載内容に不備がありますと、確認作業などの為、登録までに時間がかかります。

【運用連絡票受付時間】

平日・土曜日　9 時 30 分～ 18 時 00 分まで　（日曜・祝日は休業日）

※なお、連休は特別営業を実施し、その詳細はホームページで告知致します。

営業時間外に送られた運用連絡は翌営業日の処理となります。
特に週末や休み明けの現場には、余裕をもって早めに運用連絡票をお送り下さい。

運用連絡票の送付先は、**rm-unyo@radiomic.org** です。
運用調整システムからの自動送信メール（rf-no_reply@rf-unyo.jp）にはメールを送らないでください。
混信回避の為、運用調整を前提にした免許制度になります。
クリアな運用環境が維持できるようご協力をお願い致します。

＜運用調整システム FAX 機能の保守作業について＞

運用調整システムの FAX 機能（Inter FAX）について、下記日程で保守作業が実施されます。保守作業中は、当機構が『運用調整についてのお願い』を FAX 送信できなくなります（E メール送信は可能）。当日の「運用連絡票」のご提出は、１６時までに済ませてくださいますよう、ご協力をお願い申し上げます。

保守作業日：令和 3 年 4 月 3 日（土）17 時～終日

～当日の「運用連絡票」のご提出は、１６時までにお願いします～

令和3年 第21回 特定ラジオマイク運用調整機構
技術賞 募集 締め切り迫る!

令和３年「特ラ機構 技術賞」募集中の締め切りが迫ってまいりました。
締め切りは、令和３年３月 31 日です。お早めにご応募ください。
下記の募集要項に従い多数の応募をお待ちしております。

令和３年 第２１回 特定ラジオマイク運用調整機構　技術賞

後　援：一般社団法人 日本ポストプロダクション協会　協同組合 日本映画・テレビ録音協会
公益社団法人 日本舞台音響家協会　日本舞台音響事業協同組合（順不同）

１．選定の対象と種類

令和２年１月１日から令和３年３月31日までの 15ヶ月間に実施されたもののうち、下記のジャンルに該当すると思われるものをご推薦願います。

１）「一般部門」①　舞台、イベント（演劇、コンサート等）
②　映像　（映画、TV 番組、CM/VP、配信等）
③　その他 ※

２）「学生部門」すべてのジャンル

※①②以外のジャンル（録音、ラジオ番組、機器類の開発･改良、関連著書の発表･出版等）および長年後進の指導にあたり業界全般に大きく貢献された方をご推薦ください。

特に優れたものに対して「八幡賞」を贈呈します。八幡賞は特ラ連発足以来、業界発展のために尽力された八幡泰彦会長を顕彰して設定された賞です。

２．候補の対象者　会員社（者）が原則ですが、会員外でも賞に値すると思われるものはご推薦ください。

３．推薦方法　指定の候補推薦書に記載してください。
応募作品の台本、仕込み図などの資料、ポスター、チラシ、DVD・Blu-ray などの記録物があれば同封してください。審査終了後に返却いたします。

４．推薦の締め切り　令和３年３月 31 日 ㈬

５．推薦件数　一人一件とします。

６．発表と表彰　令和３年６月開催の特定ラジオマイク運用調整機構通常総会の席上でおこなう予定です。

７．選考方法　ご推薦いただいた候補が少数、多数にかかわらず、特ラ機構技術賞選考委員会の公正な判断のもとに審査し授賞者を決定します。

※詳しくは、下記 URL をご確認ください。
https://www.radiomic.org/Dwnld/info/20210101gijutsu-sho.pdf

事務局便り

■当機構へ再免許申請（免許更新）をご依頼頂いた皆様へ

令和３年（平成 33 年）５月末日に失効する、特定ラジオマイク無線局の再免許申請（免許更新）を当機構へご依頼頂いた会員様につきまして、有効期間が延長された新しい免許状は、令和３年５月末日までに運用ご担当へ郵送致します。

事務局免許担当／石川・渡辺きよたか

■令和２年度機構関係費用のお振込みをお願いいたします。

令和２年度決算期日（令和３年３月 31 日）が間近になりました。

毎年のお願いですが、機構関係費用が未納の会員社はお振込みをお願いします。

未納の有無をご確認ください。機構の定款により、２年以上の滞納金がある会員は総会議決を経て通知退会（除名）になり、マイクが使用できなくなりますのでご注意ください。

訂正とお詫び

『特ラ機構レポート 178 号』10・11 ページ「運用連絡と調整の総件数」において、一部内容に誤りがありました。

178 号 10・11 ページの修正、179 号 11 ページにて訂正の上、お詫び申し上げます。

編集後記

桃の節句ということで雛まつりの話題を。コロナ騒ぎ直前の昨年一月、ホテル雅叙園東京内にある東京都指定有形文化財「百段階段」にて開催された「百段雛まつり 2020 出雲・因幡・萩ひな紀行」に行ってきました。

第 11 回目になる展示は、鳥取・島根・山口の３県より神話や幕末の偉人など、歴史が息づく町々から「百段階段」へお雛さまたちが集いました。

約 700 体の雛人形で情景を表現する「座敷雛」は圧巻で、近づいて１体１体じっくり観察してみると、あの忠臣蔵赤穂浪士討ち入り雛も！可愛い雛、面白い雛、珍しい雛…様々な雛が勢揃いで、雛人形の奥深さを知る貴重な機会となりました。（松崎）

明治天皇雛（洋装に椅子という文明開花を象徴するいでたち）

700 体ある座敷雛（大石内蔵助の雛はどこでしょう？？）